

## 二条大麦新品種「イシュクシラズ」について

鶴 政夫・佐々木昭博・吉田智彦・田谷省三・桐山 毅・前田浩敬・池田和彰(九州農業試験場)

TSURU, M., A.SASAKI, T.YOSHIDA, S.TAYA, T.KIRIYAMA, H.MAEDA and K.IKEDA :  
A New Two-Rowed Barley Cultivar "ISYUKUSHIRAZU"

大麦縞萎縮病に強い西海皮29号は、1981年11月に二条大麦農林8号として新品種に登録され、「イシュクシラズ」と命名され、普及に移されることになったので、本品種の来歴、育成経過、特性などについて報告する。本品種の育成に当たって多大の御協力をいただいた関係農業試験場の担当者各位に厚く謝意を表する。

### 1. 来歴並びに育成経過

本品種は1969年4月に、農林省九州農業試験場において、早生、強稈、多収を育種目標として、西海皮10号(カワサイゴク)を母、羽系J-7(はがねむぎ×アサヒ5号)を父として人工交配が行われた。F<sub>2</sub>とF<sub>3</sub>は1970、1971年度に鹿児島県農業試験場圃場にて赤かび病現地選抜試験に供試され、1972年度F<sub>4</sub>で個体選抜、1973年度に派生系統とし、以後、選抜固定が図られてきた。1975年度より羽系Q-4として生産力検定予備試験に、1976年度より特性検定試験、系統適応性検定試験に供試され、その成績が良好であったので1977年9月に西海皮29号と命名された。その後生産力検定試験に供試され、各県農業試験場における奨励品種決定調査の材料として配布された。その間、1977年度から、育成地など九州北部に大麦縞萎縮病が多発するようになったことから、当初の育種目標とともに、その耐病性に重点をおいて試験が実施されてきた。1980年度における世代はF<sub>12</sub>である。

### 2. 特性概要

形態的特性：並性の二条皮麦である。叢性は中間型で株はやや開く。葉色はやや濃く、稈や葉鞘のワックスは多い。以下、対象品種のカワサイゴクと比較すると、稈長はやや短く、稈はやや太い。穂長はやや短いが粒着が密であり、1穂着粒数はわずかに多い。穂幅が広く、成熟期には穂がねじれる。粒はやや長型、大粒で、千粒重は重く、1重は同程度である。子実の揚精時間は短く、白度が高く、品質はまさっている。

生態的特性：播性はIで茎立ちは早い。出穂期で3日成熟期で2日早く、現在の登録品種中最も早熟である。耐倒伏性は強い。穂数はやや少ない。収量は縞萎縮病の常発地である育成地では対標準品種130%以上であり、また本病の発生しない地帯での成績も良い。耐病性は大麦縞萎縮病に強く、うどんこ病にはやや弱い。赤かび病は中程度であるがカワサイゴクに比べるとやや弱い。

### 3. 適応地帯

各地の試作成績からみると、福岡、長崎、大分県などの九州中部及び北部の平坦肥沃地に適するとみられる。これまで二条大麦には縞萎縮病抵抗性品種がなく、かつ、

本病がウイルスによる土壤伝染性の病害であることから実効のある対策がなかった。イシュクシラズは二条大麦登録品種では最初の抵抗性品種である。その抵抗性は六条大麦の「はがねむぎ」に由来すると考えられる。

福岡県では、行橋地区を中心とする縞萎縮病常発地帯の約400ha、長崎県では、森山町などの諫早干拓地の200haに、カワサイゴクに代えて、非醸造用の二条大麦として普及させる予定である。

### 5. 栽培上の注意

春播型の早生種であるので、適期播種につとめ早播きは避ける。暖冬や早播きの場合は早目に踏圧を繰返し茎立ちをできるだけ抑える。赤かび病には中程度であるので、発病が予測されるときは適期防除につとめる。耐倒伏性は強いが、過度の窒素の施用は避ける。また、登熟期間がやや長い傾向にあるので、後期追肥に留意する。耐湿性はカワサイゴク並みであり、小麦に比べると弱いので排水対策を十分ににする。

### 6. 命名の由来

大麦縞萎縮病に強いことを意味する。

第1表 イシュクシラズの主要特性

試験地 品 種 名	九州農試 (標準栽培)		福岡農試 (ドリル播栽培)		長崎農試 (標準栽培)	
	イシュク シラズ	カワサ イゴク	イシュク シラズ	カワサ イゴク	イシュク シラズ	カワサ イゴク
調査項目						
生育特性	出穂期(月・日)	4.4 4.7	4.7 4.12	4.3 4.6		
	成熟期(月・日)	5.20 5.23	5.28 5.28	5.19 5.20		
	稈長(cm)	89 84	89 95	87 91		
	穂長(cm)	6.0 6.7	6.2 6.5	5.9 6.5		
	穂数(本/m <sup>2</sup> )	534 548	751 816	540 651		
	1穂着粒数	27.4 26.9	- -	- -		
倒伏程度	倒伏程度	ム〜ビ	ビ〜少	ビ〜少 少〜中	ム〜ビ	ビ〜少
	縞萎縮病	ム	少〜中	ム	ム	ビ〜少
子実特性	収量(kg/a)	標準栽培	55.5 42.1	- -	50.3 49.7	
		(135) (100)	55.9 54.2	(102) (100)		
		ドリル播栽培	64.9 50.9	(104) (100)	- -	
		(130) (100)	- -	- -		
全面全層播栽培	全面全層播栽培	58.2 44.4	- -	- -		
	(133) (100)					
1重(g)	1重(g)	717 708	684 676	652 665		
	千粒重(g)	42.0 38.0	43.4 39.1	46.3 39.2		

注)九州農試は主に1974〜1980年度、福岡農試及び長崎農試は1977〜1980年度の成績。収量の欄の( )は対標準比を示す。